

## 第54期

自令和7年4月1日～至令和8年3月31日

## 事業のご報告



## 備後信用組合

## ごあいさつ



理事長

組合員の皆さま方には、平素は格別のご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

ここに令和7年度第54期の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当期の日本経済は、緩やかな成長を維持してはいるものの、エネルギー価格の高騰等による物価上昇に賃金の上昇が追い付いておらず、個人消費は力強さを欠く状況です。また原油価格は高騰しており、国内経済においてもガソリン価格をはじめとして幅広い品目でのさらなる物価上昇、経済活動への打撃が懸念されています。

一方、金融業界では、金利ある世界へのシフトが図られています。また、金融庁より地域金融力強化プランが公表され、地域金融機関においては経営・事業のパートナーとしての役割がますます求められています。併せてデジタル化、オンライン化の進展や地方創生支援、マネー・ローンダリング、テロ資金供与及び拡散金融対策、各種法令への対応など様々な課題への取組みと貢献が期待されています。

このようななか、当組合では皆様方の信頼にお応えし、皆様のご繁栄と地域経済の発展に貢献することを第一に考え健全経営に徹するとともに経営体質の強化に努めて参りました。

その結果、令和7年度決算において、総預金残高 66,027 百万円、総貸出金残高 42,612 百万円、当期純利益 138 百万円となり、また自己資本比率は 20.35%となり、基準（国内基準 4%）を大きく上回る好決算となりました。これもひとえに組合員及び地域の皆様のご支援の賜と深く感謝いたしております。

令和8年度も、金融仲介機能の発揮、コンサルティング機能の発揮とともに、電子化等に向けた対応、各種制度・規制等に対する対応、行政課題等への対応等が求められています。

今後も「経営基盤の強化」、「経営体質の強化」、「人材の育成・強化」を課題とし、組合員・お客様に寄り添う親身で迅速な取組みにより地域経済・社会への貢献を続けて参ります。

引続き健全経営に徹するとともに、ガバナンスの強化及び内部管理態勢の充実に努め、中小企業・小規模事業者・勤労者の皆様の専門の金融機関としてその役割・使命を果たして参る所存でございます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

理事長 **平田雅士**

## ■ 事業方針

### 《経営理念》

- 組合員、顧客に信頼される
  - 地域に必要とされ愛される
  - 働きがいのある職場づくり
- の3要件の実現を目指しております。

### 《経営目標》

- 取引基盤の強化
  - 収益体質の強化
  - 活力あふれた組織づくり
- を柱とした推進を図り安定した経営基盤を確立してまいります。

## ■ 本店所在地

広島県福山市野上町三丁目2番3号

## ■ 設 立

昭和47年4月1日

## ■ 沿 革

- 昭和23年 9月 新市信用組合創立
- 昭和27年12月 神迎信用組合創立
- 昭和28年 7月 千年信用組合創立
- 昭和47年 4月 神迎信用組合、新市信用組合、千年信用組合が合併し、備後信用組合を設立
- 昭和48年10月 本店新築移転
- 昭和50年 4月 尾道支店開設
- 昭和58年10月 木之庄支店開設
- 昭和61年 4月 加茂支店開設
- 平成 5年 2月 芦田支店開設
- 令和 6年10月 内海出張所移転



## 損益計算書

(金額単位：千円)

科 目	(金額単位：千円)	
	令和6年度第53期 令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年度第54期 令和7年4月1日～令和8年3月31日
経 常 収 益	1,575,726	1,723,386
資 金 運 用 収 益	1,501,445	1,609,445
貸 出 金 利 息	1,393,813	1,427,471
預 け 金 利 息	89,645	164,184
有価証券利息配当金	1,815	6,805
その他の受入利息	16,170	10,984
役 務 取 引 等 収 益	62,843	81,113
受入為替手数料	17,222	16,737
その他の役務収益	45,621	64,375
そ の 他 業 務 収 益	7,480	14,818
国債等債券売却益	—	—
国債等債券償還益	—	—
その他の業務収益	7,480	14,818
そ の 他 経 常 収 益	3,957	18,008
貸倒引当金戻入益	—	—
償却債権取立益	3,002	16,844
株式等売却益	—	—
その他の経常収益	955	1,164
経 常 費 用	1,473,696	1,539,056
資 金 調 達 費 用	48,394	96,503
預 金 利 息	46,734	91,485
給付補填備金繰入額	1,454	2,624
借 用 金 利 息	—	2,195
その他の支払利息	205	197
役 務 取 引 等 費 用	241,863	214,799
支払為替手数料	6,729	6,487
その他の役務費用	235,134	208,311
そ の 他 業 務 費 用	15,989	16,287
国債等債券売却損	—	—
国債等債券償還損	—	—
国債等債券償却	—	—
その他の業務費用	15,989	16,287

(金額単位：千円)

科 目	(金額単位：千円)	
	令和6年度第53期 令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年度第54期 令和7年4月1日～令和8年3月31日
経 費	815,759	832,944
人 件 費	564,332	575,418
物 件 費	237,666	242,406
税 金	13,760	15,119
そ の 他 経 常 費 用	351,688	378,522
貸倒引当金繰入額	277,902	298,369
貸 出 金 償 却	40,660	48,357
株 式 等 売 却 損	—	—
株 式 等 償 却	—	—
その他資産償却	—	—
その他の経常費用	33,125	31,795
経 常 利 益	102,030	184,329
特 別 利 益	—	20
固 定 資 産 処 分 益	—	20
その他の特別利益	—	—
特 別 損 失	276	720
固 定 資 産 処 分 損	276	720
減 損 損 失	—	—
その他の特別損失	—	—
税引前当期純利益	101,753	183,629
法人税・住民税及び事業税	43,835	126,034
法 人 税 等 調 整 額	▲ 24,589	▲ 81,383
法 人 税 等 合 計	19,246	44,651
当 期 純 利 益	82,506	138,978
繰越金(当期首残高)	13,004	15,925
当 期 未 処 分 剰 余 金	95,511	154,903

## ■ 剰余金処分計算書

(金額単位：円)

科目	令和6年度第53期 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)	令和7年度第54期 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)
当期末処分剰余金	95,511,665	154,903,581
積立金取崩額		2,000,000,000
特別積立金取崩額		2,000,000,000
合計		2,154,903,581
剰余金処分額	79,586,107	9,498,095
出資配当金	9,586,107 (年3%の割合)	9,498,095 (年3%の割合)
特別積立金	70,000,000	
繰越金(当期末残高)	15,925,558	2,145,405,486

上記の通り相違ありません。

令和8年4月

## 備後信用組合

理事長 平田 雅士  
(企画部長)

専務理事 (業務推進部長)	森 孝司	理事	小川 一利
常務理事 (融資部長兼管理部長)	岡崎 俊典	理事	小野 正弘
常務理事 (総務部長)	藤田 隆	理事	水戸川茂信
常勤理事 (監査部長)	佐藤 孝三	理事	村上 俊二

前記各項を監査の結果、何れも正確であることを認めます。

令和8年5月

監事(常勤) 縮上 和久  
監事 下岡 輝也  
監事 三谷 憲治

監事のうち三谷憲治は、協同組合による金融事業に関する法律第5条の3に規定する員外監事であります。

## ■ 法定監査の状況

貸借対照表、損益計算書、剰余金処分計算書につきましては「協同組合による金融事業に関する法律」第5条の8第3項の規定に基づき、「A Cアーネスト監査法人」の監査を受けております。

## ■ 事業の概要

### 預金積金

預金は、調達コストの上昇を抑制しながら、地域に密着した地道な営業活動を展開しましたが、期末残高は前年度末比1,941百万円減少し66,027百万円となりました。

### 貸出金

貸出金は、地元中小企業・小規模事業者向け融資、および個人向け融資に積極的な営業を展開した結果、期末残高は前年度末比2,596百万円増加し、42,612百万円となりました。

### 損益

損益面では、引き続き財務内容の健全化に特段の配慮をしつつ資金の効率的運用・調達、役務収益の増加並びに経費の節約に鋭意努めました結果、経常利益184百万円、税引前当期純利益183百万円、当期純利益138百万円を計上することができました。この結果、経営の健全性の指標として4%以上を求められている自己資本比率は20.35%となりました。

### 純資産

純資産は前期比126百万円増加して期末残高は7,629百万円となり、うち出資金の期末残高は313百万円となりました。

出資配当金は、前年同様年3%にさせていただきました。

## ■ 庶務の概要

### 第54回通常総代会決議事項

令和7年6月20日開催の第54回通常総代会において、次の報告事項が報告され、また決議事項が付議されそれぞれ原案のとおり承認可決されました。

- 報告事項 第53期事業報告、貸借対照表、損益計算書報告の件
- 決議事項  
第1号議案 第53期剰余金処分案承認の件  
第2号議案 第54期事業計画並びに収支予算案承認の件  
第3号議案 組合員法定脱退の件

### 理事会

当期中に通算5回開催し重要事項を審議決定しました。

### 監事会

当期中に3回開催しました。

### 登記事項

令和7年4月8日 出資変更登記  
令和7年4月14日 役員変更登記

## ■ 主要な経営指標の推移

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収益	1,722,645	1,710,841	1,664,408	1,575,726	1,723,386
経常利益	347,795	165,966	163,812	102,030	184,329
当期純利益	251,888	120,066	124,880	82,506	138,978
預金積金残高	69,832,043	68,370,026	68,643,437	67,968,915	66,027,228
貸出金残高	42,190,945	41,177,810	41,420,022	40,016,181	42,612,622
有価証券残高	3,202	3,202	3,202	303,202	603,202
総資産額	78,331,777	76,205,362	76,640,039	75,965,104	75,388,295
純資産額	7,214,663	7,317,608	7,431,790	7,502,613	7,629,412
自己資本比率(単体)	19.61%	20.79%	20.75%	21.89%	20.35%
出資総額	318,886	314,710	316,861	316,011	313,418
出資総口数	637,772	629,420	633,722	632,023	626,837
出資に対する配当金	12,945	12,849	9,546	9,586	9,498
職員数	92人	91人	87人	85人	83人
パートタイム労働者	2人	2人	2人	2人	2人

(注) 1. 残高計数は期末日現在のものであり、総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

## ■ 協法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区 分		残高 (A)	担保・保証額 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率(% (B+C)/A)	引当率(% C/(A-B))
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年度	3,065	1,706	1,358	100.00	100.00
	令和7年度	3,015	1,655	1,359	100.00	100.00
危険債権	令和6年度	1,115	945	87	92.61	51.50
	令和7年度	1,422	1,169	130	91.38	51.51
要管理債権	令和6年度	56	25	1	47.45	5.69
	令和7年度	63	32	4	57.61	13.17
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	—	—	—	—	—
小 計	令和6年度	4,237	2,677	1,448	97.35	92.80
	令和7年度	4,501	2,857	1,493	96.68	90.91
正常債権	令和6年度	35,835	—	—	—	—
	令和7年度	38,169	—	—	—	—
合 計	令和6年度	40,073	—	—	—	—
	令和7年度	42,670	—	—	—	—

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権（1に掲げるものを除く。）です。
3. 「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金（1及び2に掲げるものを除く。）です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金（1、2及び4に掲げるものを除く。）です。
6. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権（1、2及び3に掲げるものを除く。）です。
7. 「担保・保証額」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の貸出金、「その他資産」中の未取利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるものです。
10. 金額は決算後（償却後）の計数です。

## ■ 自己資本の充実状況・自己資本比率

(単位：百万円)

項 目	令和6年度	令和7年度
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,593	7,737
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組員勘定の額	7,363	7,489
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	230	247
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	4	3
自己資本の額 (イ)-(ロ) (ハ)	7,589	7,734
信用リスク・アセットの額の合計額	32,075	35,452
資産(オン・バランス項目)	32,075	35,452
オフ・バランス取引等項目	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,585	2,542
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	34,661	37,995
自己資本比率 (ハ)／(ニ)	21.89%	20.35%

# 店舗一覽

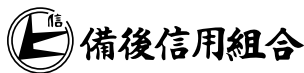
(ATM設置状況)

金融機関コード  
2696

	本部 店舗コード100	〒720-0815 福山市野上町3丁目2番3号	TEL (084) 922-6556 FAX (084) 932-1738
○	本店営業部 店舗コード001	〒720-0815 福山市野上町3丁目2番3号	TEL (084) 922-6555 FAX (084) 928-3351
○	神辺支店 店舗コード002	〒720-2123 福山市神辺町大字川北712-4	TEL (084) 962-2211 FAX (084) 963-3772
○	横尾支店 店舗コード003	〒720-0004 福山市御幸町大字中津原乗越1410-4	TEL (084) 955-1034 FAX (084) 955-7010
○	新市支店 店舗コード004	〒729-3103 福山市新市町大字新市620-2	TEL (0847) 52-3260 FAX (0847) 52-7660
○	宮内支店 店舗コード005	〒729-3104 福山市新市町大字宮内333-1	TEL (0847) 52-3262 FAX (0847) 52-7661
○	駅家支店 店舗コード006	〒720-1141 福山市駅家町大字江良105	TEL (084) 976-0327 FAX (084) 976-4885
○	千年支店 店舗コード007 千年支店内海出張所 店舗コード009	〒720-0311 福山市沼隈町大字草深1825-1	TEL (084) 987-1355 FAX (084) 987-3927
○	福山南支店 店舗コード008	〒720-0809 福山市住吉町7-21	TEL (084) 923-6270 FAX (084) 926-9711
○	尾道支店 店舗コード010	〒722-0051 尾道市東尾道2-8	TEL (0848) 37-5235 FAX (0848) 37-3886
○	木之庄支店 店舗コード011	〒720-0082 福山市木之庄町1丁目16番26-101号	TEL (084) 924-5016 FAX (084) 926-9710
○	加茂支店 店舗コード012	〒720-2418 福山市加茂町字中野字内堤242-8	TEL (084) 972-6525 FAX (084) 972-4330
○	芦田支店 店舗コード013	〒720-1262 福山市芦田町大字下有地1066-9	TEL (084) 958-4801 FAX (084) 958-4803

○印＝ATM設置店舗。平日の9時～18時までご利用できます。  
ATMでキャッシュカードによるお振込、暗証番号の変更ができます。

心で信頼・笑顔で備信



<https://www.binshin.co.jp>